

国土数值情報（雨水出水浸水想定区域）

製品仕様書

第 2.0 版

令和 7 年 3 月

国土交通省 政策統括官付 地理空間情報課

【改訂履歴】

版	更新日	改訂内容
第1.0版	2022年3月	新規作成
第1.1版	2024年3月	作成者、データ作成日などを更新
第2.0版	2025年3月	作成者、データ作成日などを更新 対象を水防法第 14 条の 2 に基づく雨水出水浸水想定区域のみに変更 「4. データ内容および構造」の内、主題属性を変更

目次

1.	概覧	1
1.1	空間データ製品仕様書の作成情報	1
1.2	目的	1
1.3	適用範囲	1
1.4	引用規格	1
1.5	用語と定義	2
1.6	略語	2
1.7	参考資料	2
2.	適用範囲	2
2.1	適用範囲識別	2
2.2	階層レベル	2
3.	データ製品識別	3
4.	データ内容および構造	3
4.1	応用スキーマクラス図および応用スキーマ文書	3
4.1.1	国土数値情報応用スキーマパッケージ	3
4.1.2	政策区域-災害・防災パッケージ	4
4.1.3	雨水出水浸水想定区域パッケージ	5
4.1.4	共通パッケージ	8
4.2	空間スキーマプロファイル	8
4.3	時間スキーマプロファイル	8
5.	参照系	9
5.1	座標参照系	9
5.2	時間参照系	9
6.	データの品質	10
6.1	品質要求及び評価手順	10
7.	データ製品配布	12
7.1	配布書式情報	12
7.2	配布媒体情報	12
8.	メタデータ	12

付属資料ー 1 符号化仕様作成のためのタグ一覧

付属資料ー 2 符号化仕様

1. 概覧

1.1 空間データ製品仕様書の作成情報

本製品仕様書の作成に関する情報は以下のとおりとする。

- 空間データ製品仕様書の題名：国土数値情報（雨水出水浸水想定区域）製品仕様書 第 2.0 版
- 日付：2025 年 3 月 26 日
- 作成者：国土交通省 政策統括官付 地理空間情報課
- 言語：日本語
- 分野：政策区域
- 文書書式：PDF

1.2 目的

本製品仕様書の目的は、国土数値情報（雨水出水浸水想定区域）データの仕様の規定である。

国土数値情報は、国土形成計画、国土利用計画などの国土形成や土地・不動産関連分野等の策定や実施の支援のために作られたものであるが、各分野で広く利用されることも想定している。

本製品仕様書に基づく地理空間データ製品は、雨水出水浸水想定区域をデータベース化し公開することにより、雨水出水災害に対する被害状況把握や避難計画、損害予測等の今後の防災・減災対策の検討に資することを目的としている。

1.3 適用範囲

本製品仕様書が適用されるデータの適用範囲は以下のとおりである。

- 空間範囲：日本全国
- 時間範囲：本製品仕様書に基づき作成されるデータの作成年度まで

1.4 引用規格

本製品仕様書は以下の規格から引用する。

- 地理情報標準プロファイル（JPGIS）2014 令和元年 7 月

1.5 用語と定義

本製品仕様書で使用する専門用語とその定義は、以下の資料に従う。

- 地理情報標準プロファイル(JPGIS) 2014 「附属書 5 (規定) 定義」
- 国土数値情報ダウンロードサイト 初めての方へ
URL:<https://nlftp.mlit.go.jp/first.html>

1.6 略語

本製品仕様書で使用する略語は、以下のとおりとする。

- JPGIS Japan Profile for Geographic Information Standards
- JMP Japan Metadata Profile
- UML Unified Modeling Language

1.7 参考資料

国土数値情報で使用するコードリスト等については、以下のサイトを参照。

国土数値情報ダウンロードサービス

URL:<https://nlftp.mlit.go.jp/ksj/index.html>

2. 適用範囲

本製品仕様書の適用範囲は次のとおりとする。

2.1 適用範囲識別

国土数値情報（雨水出水浸水想定区域）製品仕様書 第 2.0 版 適用範囲

2.2 階層レベル

データ集合

3. データ製品識別

本製品仕様書に基づくデータ製品の識別は、次のとおりとする。

- 空間データ製品の名称：国土数値情報（雨水出水浸水想定区域）データ
- 日付：本製品仕様書に基づきデータ作成する業務仕様書等により指定
- 問い合わせ先：国土情報提供サイト運営事務局
<https://nlftp.mlit.go.jp/inquiry.html>
- 地理記述：日本全国

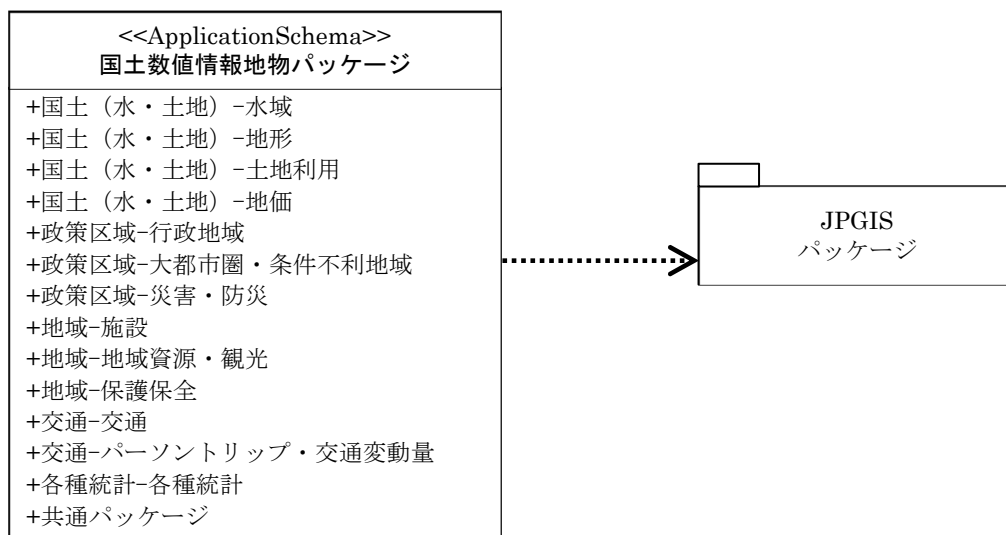
4. データ内容および構造

本章では、本製品仕様書が扱う国土数値情報に関する UML クラス図および定義文書を記す。

4.1 応用スキーマクラス図および応用スキーマ文書

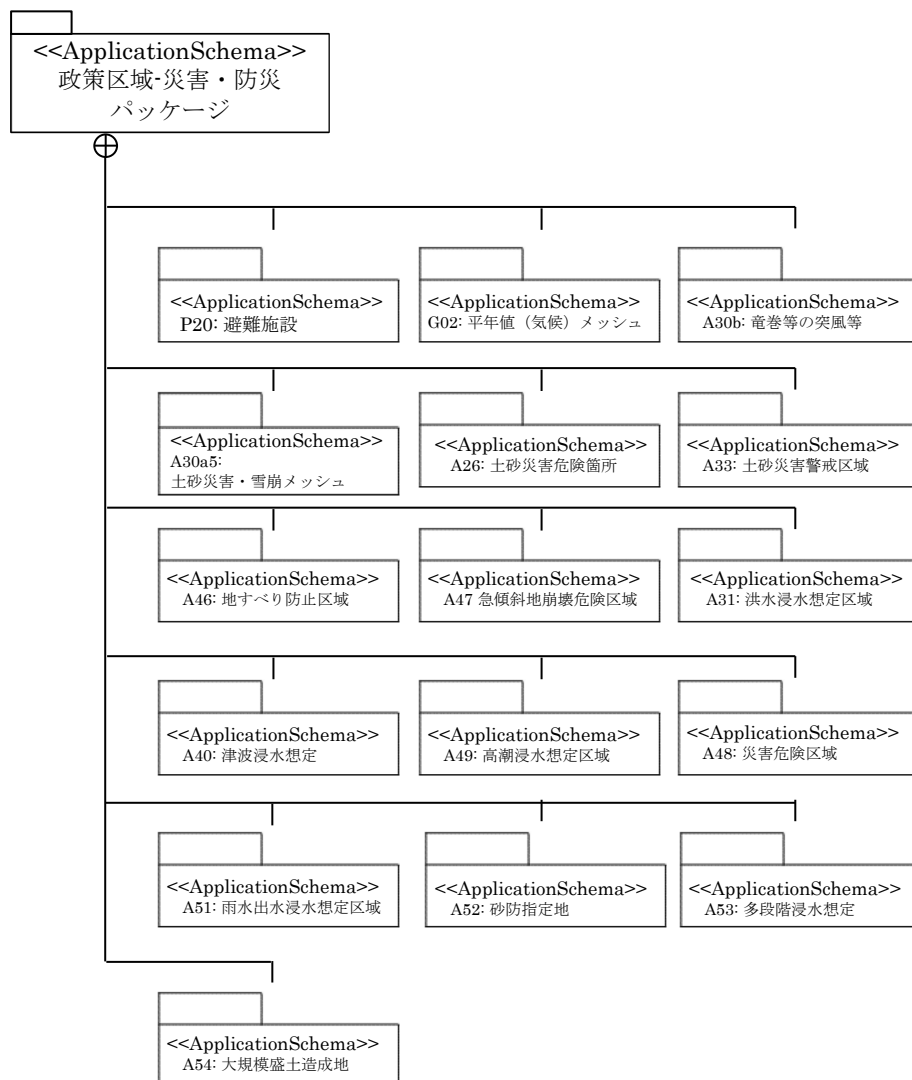
4.1.1 国土数値情報応用スキーマパッケージ

このパッケージは、国土数値情報応用スキーマを構成する各パッケージの依存関係を示したものである。国土数値情報応用スキーマは、国土数値情報データ集合パッケージおよび国土数値情報応用スキーマで共通に使用するコードリスト等をまとめた共通パッケージより構成される。国土数値情報応用スキーマに含まれる地物およびメッシュは、産業統計や沿岸域等のカテゴリにおいて定義される。



4.1.2 政策区域・災害・防災パッケージ

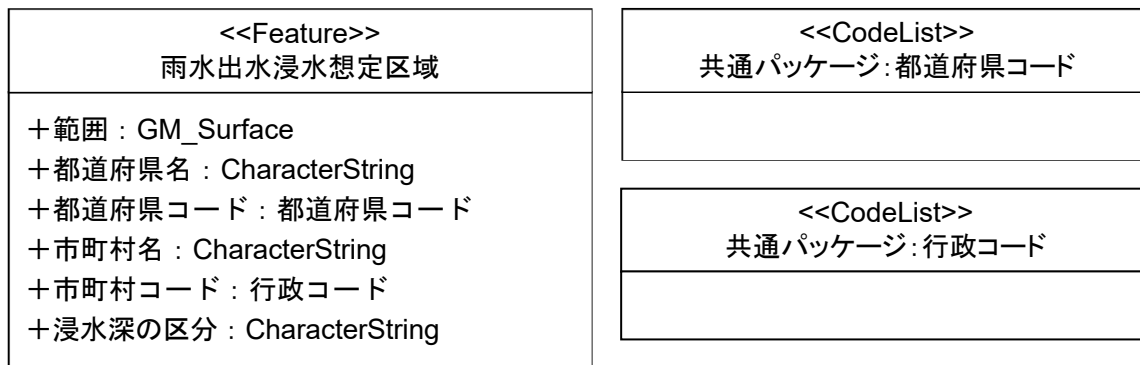
このパッケージは、政策区域・災害・防災パッケージをまとめたものである。



4.1.3 雨水出水浸水想定区域パッケージ

このパッケージは、雨水出水浸水想定区域に関する内容をまとめたものである。

4.1.3.1. 応用スキーマクラス図



4.1.3.2. 応用スキーマ文書

雨水出水浸水想定区域

本データは、水防法第 14 条の 2 に基づく雨水出水浸水想定区域を GIS データとしてあらわしたものである。

本データ作成における原典資料等を以下に示す。

原典資料

- 地方自治体が作成した水防法第 14 条の 2 に基づく雨水出水浸水想定区域（想定最大規模降雨）データ

上位クラス：国土数値情報地物

抽象／具象区分：具象

属性

範囲：GM_Surface

雨水出水浸水想定区域の空間範囲。

都道府県名：CharacterString

雨水出水想定区域を指定した地方公共団体が属する都道府県の名称。

■ 定義域

全角 4 文字以内

都道府県コード：都道府県コード

「都道府県名」に対応するコード。都道府県を一意に識別するためのものである。

JIS 規格(JIS X 0401)に準拠する。

■ 定義域

01～47

市町村名：CharacterString

雨水出水想定区域を指定した地方公共団体の名称。

■ 定義域

全角

市町村コード：行政コード

「市町村名」に対応するコード。地方公共団体を一意に識別するためのものである。

JIS 規格(JIS X 0401)+JIS 規格(JIS X 0402)に準拠する。

■ 定義域

01000～ 47999

浸水深の区分：CharacterString

「水害ハザードマップ作成の手引き」に記載されている区分を基にした浸水深の区分（標準版または詳細版）。

詳細版を使用することを基本とするが、使用できない場合は標準版でも可とする。

下表に当てはめられない区分の場合は、深い方を優先する。

例）原典資料の区分「0.5m～2m」は、「1m 以上 3m 未満」（詳細版）とする。

■ 定義域

下表に列挙する値

標準版	詳細版
20m以上	20m以上
10m以上20m未満	10m以上20m未満
5m以上10m未満	5m以上10m未満
3m以上5m未満	3m以上5m未満
0.5m以上3m未満	1m以上3m未満
	0.5m以上1m未満
0.5m未満	0.3m以上0.5m未満
	0.3m未満

4.1.4 共通パッケージ

このパッケージは、国土数値情報応用スキーマで共通に使用するコードリストをまとめたものである。

都道府県コード

都道府県を一意に識別するためのコード。JIS 規格(JIS X 0401)に準拠する。

コード

コード	定義
01	北海道
⋮	(略)
47	沖縄県

行政コード

都道府県コードと組み合わせ、市町村を一意に識別するためのコード。JIS 規格(JIS X 0402)に準拠する。

コード

都道府県コード	行政コード	定義
01	100	北海道札幌市
⋮	⋮	(略)
47	382	沖縄県与那国町

4.2 空間スキーマプロファイル

国土数値情報の空間スキーマプロファイルは「地理情報標準プロファイル(JPGIS) 2014 空間スキーマ」を採用する。

4.3 時間スキーマプロファイル

国土数値情報の時間スキーマプロファイルは「地理情報標準プロファイル(JPGIS) 2014 時間スキーマ」を採用する。

5. 参照系

5.1 座標参照系

参照系識別子：JGD2011/(B,L)

5.2 時間参照系

参照系識別子：GC/JST

6. データの品質

6.1 品質要求及び評価手順

データ品質要素	完全性・過剰
データ品質適用範囲	パッケージごと
データ品質評価尺度	データ集合内に、原典資料より広い範囲に地物が存在すれば、それを過剰なデータとして数える。また、データ集合内に重複して存在する場合、重複している余分なデータの個数をエラーとして数える。 ただし、原典資料にエラー地物がある場合、そのエラー地物は評価対象外とする。
データ品質評価手法	プログラムを用いて、および目視にて以下を全数検査する。 ・本書で規定する座標系に変換した原典資料と本データのデータ範囲を比較し、本データに過剰が無いか ・本データ内に重複するポリゴンが無いか。
適合品質水準	過剰データの個数：0 個

データ品質要素	完全性・漏れ
データ品質適用範囲	パッケージごと
データ品質評価尺度	データ集合内に、原典資料の範囲内に地物データが存在しない場合、それをデータの漏れデータとして数える。 ただし、原典資料にエラー地物がある場合や公表図の浸水深の下限値より小さい値の地物については評価対象外とする。
データ品質評価手法	プログラムを用いて、および目視にて以下を全数検査する。 ・本書で規定する座標系に変換した原典資料と本データのデータ範囲を比較し、本データに漏れが無いか
適合品質水準	データの漏れの個数：0 個

データ品質要素	論理一貫性・書式一貫性
データ品質適用範囲	データ集合全体
データ品質評価尺度	データ集合の書式が、整形形式となっていない箇所（XML 文書の構文として正しくない箇所）を数える。
データ品質評価手法	検査プログラム（XML パーサなど）による全数検査を実施する。
適合品質水準	XML 文書の構文エラーの個数：0 個

データ品質要素	論理一貫性・概念一貫性
データ品質適用範囲	データ集合全体
データ品質評価尺度	符号化仕様に定義された概念を逸脱する地物及び地物同士の関係が応用スキーマの定義と矛盾する場合、その個数をエラーとして数える。
データ品質評価手法	検査プログラム（XML バリデータなど）による全数検査を実施する。
適合品質水準	符号化仕様の XML スキーマに対する矛盾の個数：0 個

データ品質要素	論理一貫性・定義域一貫性
データ品質適用範囲	データ集合全体
データ品質評価尺度	地物属性の値が、それぞれ規定された定義域に含まれていない場合、その個数をエラーとして数える。
データ品質評価手法	検査プログラムによる全数検査を実施する。
適合品質水準	地物属性の定義域一貫性のエラーの個数：0 個

データ品質要素	位置正確度・位相一貫性
データ品質適用範囲	パッケージごと
データ品質評価尺度	隣接する地物の端点が一致していない場合、隣接する地物の全主題属性が一致している場合はその個数をエラーとして数える。
データ品質評価手法	検査プログラムによる全数検査を実施する。
適合品質水準	地物属性の位相一貫性のエラーの個数：0 個

データ品質要素	位置正確度・絶対正確度
データ品質適用範囲	パッケージごと
データ品質評価尺度	データ集合の座標値が原典資料と同じ位置および当該自治体行政区域にないデータがあればその個数をエラーとして数える。 原典資料の座標系が本書の規定する座標系と異なる場合は、本書に規定する座標系に変換したデータを原典資料とみなす。 なお、有効桁数は小数点以下 8 桁（9 桁目を四捨五入）とする。 ただし、原典資料にエラー地物がある場合、そのエラー地物は評価対象外とする。
データ品質評価手法	原典資料との比較および地理院タイルとの重畳による全数検査を実施する。
適合品質水準	絶対正確度のエラーの個数：0 個

データ品質要素	主題正確度・非定量的主題属性の正しさ
データ品質適用範囲	パッケージごと
データ品質評価尺度	主題属性のうち非定量的主題属性について、データ集合と原典資料や原典提供者からの情報との比較を行い、非定量的主題属性の値に誤りがある場合、その個数をエラーとして数える。
データ品質評価手法	データごとに原典資料の 3%を抽出し検査を実施する。 ただし、地物属性の座標値が原典資料と一致している場合はプログラムにより全数検査を実施する。
適合品質水準	非定量的な主題属性のエラーの個数：0 個

7. データ製品配布

7.1 配布書式情報

■ 書式名称

JPGIS 2014 付属書 12（規定）地理マーク付け言語(GML)

■ 符号化仕様

国土数値情報応用スキーマの XML Schema は、JPGIS2014 (GML)付属書 12 の符号化規則に従う。また、国土数値情報応用スキーマが参照する基本データ型スキーマ、空間スキーマ、時間スキーマ等の標準スキーマの XML Schema は、次の URL に掲載されている XML Schema を使用する。

<http://schemas.opengis.net/gml/3.2.1/gml.xsd>

国土数値情報（雨水出水浸水想定区域）応用スキーマの XML Schema で使用する名前空間および名前空間接頭辞は次のとおりとし、XML Schema については付属資料参照のこと。

名前空間：<http://nlftp.mlit.go.jp/ksj/jpgis/xsd/KsjAppSchema.xsd>

名前空間接頭辞：ksj

■ 文字集合

UTF-8

■ 言語

日本語

7.2 配布媒体情報

■ 単位

全国

■ 媒体名

下記サイトよりダウンロード。下記サイトでは、国土数値情報を無償で一般公開している。

国土数値情報ダウンロードサービス

URL <http://nlftp.mlit.go.jp/ksj/>

8. メタデータ

本製品仕様書のメタデータは、JMP2.0 を採用する。

国土数值情報（雨水出水浸水想定区域）製品仕様書 第 2.0 版

付属資料

付属資料－１ 符号化仕様作成のためのタゲ一覧

カテゴリ	パッケージ	クラス	属性・関連役割	型	タグ名	英語名 (属性・関連役割のみ)
A: 指定地域パッケージ						
A51：雨水出水浸水想定区域パッケージ						
雨水出水浸水想定区域				InlandWaterFloodingArea	Inland Water Flooding Area	
範囲		GM_Curve	bounds	Bounds		
都道府県名		CharacterString	prefectureName	Prefecture Name		
都道府県コード		都道府県コード	prefectureCode	Prefecture Code		
市町村名		CharacterString	cityName	City Name		
市町村コード		行政コード	cityCode	City Code		
浸水深の区分		CharacterString	classificationOfWaterDepth	Classification Of Water Depth		

付属資料－2 符号化仕様

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<xsd:schema
  xmlns:ksj="http://nlftp.mlit.go.jp/ksj/schemas/ksj-app"
  xmlns:gml="http://www.opengis.net/gml/3.2.1"
  xmlns:xsd="http://www.w3.org/2001/XMLSchema"
  targetNamespace="https://nlftp.mlit.go.jp/ksj/jpgis/xsd/KsjAppSchema.xsd"
  elementFormDefault="qualified">
  <!-- 外部参照 -->
  <xsd:import
    namespace="http://www.opengis.net/gml/3.2.1"

schemaLocation="http://standards.iso.org/ittf/PubliclyAvailableStandards/ISO_19136_Sch
emas/gml.xsd"/>
  <!-- 基底要素 -->
  <xsd:element name="Dataset">
    <xsd:complexType>
      <xsd:complexContent>
        <xsd:extension base="gml:AbstractFeatureType">
          <xsd:choice minOccurs="0" maxOccurs="unbounded">
            <xsd:element ref="gml:AbstractGML"/>
            <xsd:element ref="gml:CompositeValue"/>
          </xsd:choice>
        </xsd:extension>
      </xsd:complexContent>
    </xsd:complexType>
  </xsd:element>
  <!-- 要素定義 -->
  <xsd:element name="InlandWaterFloodingArea" type="ksj:InlandWaterFloodingAreaType"
substitutionGroup="gml:AbstractFeature"/>
  <xsd:complexType name="InlandWaterFloodingAreaType">
    <xsd:annotation>
      <xsd:documentation>雨水出水浸水想定区域</xsd:documentation>
    </xsd:annotation>
    <xsd:complexContent>
      <xsd:extension base="gml:AbstractFeatureType">
        <xsd:sequence minOccurs="1" maxOccurs="1">
          <xsd:element name="bounds" type="gml:SurfacePropertyType">
            <xsd:annotation>
              <xsd:documentation>範囲</xsd:documentation>
            </xsd:annotation>
          </xsd:element>
          <xsd:element name="prefectureName" type="xsd:string">
            <xsd:annotation>
              <xsd:documentation>都道府県名</xsd:documentation>
            </xsd:annotation>
          </xsd:element>
          <xsd:element name="prefectureCode" type="gml:CodeType">
            <xsd:annotation>
              <xsd:documentation>都道府県コード</xsd:documentation>
            </xsd:annotation>
          </xsd:element>
        </xsd:sequence>
      </xsd:extension>
    </xsd:complexContent>
  </xsd:complexType>
```

```

    <xsd:appinfo>
      <gml:defaultCodeSpace>PrefectureCode.xml</gml:defaultCodeSpace>
    </xsd:appinfo>
  </xsd:annotation>
</xsd:element>
<xsd:element name="cityName" type="xsd:string">
  <xsd:annotation>
    <xsd:documentation>市町村名</xsd:documentation>
  </xsd:annotation>
</xsd:element>
<xsd:element name="cityCode" type="gml:CodeType">
  <xsd:annotation>
    <xsd:documentation>市町村コード</xsd:documentation>
  </xsd:annotation>
  <xsd:appinfo>
    <gml:defaultCodeSpace>AdministrativeAreaCode.html</gml:defaultCodeSpace>
  </xsd:appinfo>
</xsd:annotation>
</xsd:element>
<xsd:element name="classificationOfWaterDepth" type="xsd:string">
  <xsd:annotation>
    <xsd:documentation>浸水深の区分</xsd:documentation>
  </xsd:annotation>
</xsd:element>
</xsd:sequence>
</xsd:extension>
</xsd:complexContent>
</xsd:complexType>
<xsd:complexType name="InlandWaterFloodingAreaType">
  <xsd:sequence minOccurs="0">
    <xsd:element ref="ksj:InlandWaterFloodingArea"/>
  </xsd:sequence>
  <xsd:attributeGroup ref="gml:AssociationAttributeGroup"/>
  <xsd:attributeGroup ref="gml:OwnershipAttributeGroup"/>
</xsd:complexType>
<xsd:complexType name="InlandWaterFloodingAreaMemberType">
  <xsd:complexContent>
    <xsd:extension base="gml:AbstractMemberType">
      <xsd:sequence minOccurs="0">
        <xsd:element ref="ksj:InlandWaterFloodingArea"/>
      </xsd:sequence>
      <xsd:attributeGroup ref="gml:AssociationAttributeGroup"/>
    </xsd:extension>
  </xsd:complexContent>
</xsd:complexType>
</xsd:schema>

```